

# 5月17日（土）和歌山市庁舎前集会・原水爆禁止国民平和大行進

## 日本政府に禁止条約の署名・批准を!!

**暴風雨で平和行進中止!!**



5月17日（土）午前暴風雨です。和歌山市集会です。集会が終わり、平和行進の予定時間になっても暴風雨は市庁舎広場に襲いかかります。傘も飛ばされる状況です。こうした状況下、和歌山市の平和行進は中止としました。

和歌山市出発集会は、市庁舎前の庇の下で80人余がぎゅうぎゅう詰めで暴風雨を避ける中で開催されました。

和歌山地区労の祐伯浩一事務局長が進行します。最初、和歌山市実行委員長の楠見耕助さんは「ガザの大量殺りくとかウクライナの侵攻とか、中々終わりが見えない中ですが、ノーベル平和賞のメッセージを力に平和の取り組み頑張っていきましょう。」開会挨拶です。次いで、茂野和廣県平和行進実行委員長は「日本は、核兵器禁止条約第三回締約国会議に参加しませんでした。オブザーバーでの参加もおこないませんでした。日本がすべきことは何か？ 禁止条約に一日でも早く入って、世界の核兵器廃絶運動の先頭に立つ事です。」と主催者の挨拶をします。次いで、和歌山民医連の加藤智紀さんが原水爆禁止世界大会参加して「世界中に核兵器を禁止しようとする人達いる事を知りました。特に印象に残ったのは被爆された方の体験を伺った事です」と報告をしました。次に、わかやま市民生協の代表より決意表明がおこなわれます。集会には、わかやま市民生協から多くの方々が参加いただいています。最後、和歌山市集会アピールを新日本婦人の会和歌山支部西本真美さんが読み上げます。

集会終了後も暴風雨です。平和行進ができる状態ではありません。苦渋の決断でしたが、和歌山市の平和大行進は中止とする事にしました。和歌山市での平和行進中止は初めてでした。

次は、5月19日の月曜日、海南市平和行進となります。

県原水協事務局